

## 令和元年度 第5回用瀬地域振興会議 視察研修概要

### 【開催日時】

令和元年10月11日(金) 午前8時～午後6時

### 【視察先】

日野郡日南町役場

NPO法人多里まちづくりサポートセンター(日南町多里地区)

### 【参加者】

出席委員 西川功美、平井育子、山本慎介、長谷 進、西村正雄、  
谷本由美子、福山裕正、加賀田三郎 以上8名(敬称略)

事務局 西尾副支所長、岡本産業建設課長、堀場地域振興課課長補佐、  
井殿交通政策課主事

### 【目的】

少子高齢化による人口減、マイカーへの依存、運転手不足等の事由によりバス・タクシー路線が廃止や縮小が進んでいる一方で、運転免許証返納に伴う高齢者の増加等公共交通へのニーズは高まっているところである。これらの課題の取組について先進的な事例を視察研修する。

### 【視察研修】

○・場所:日野郡日南町霞800番地 日南町役場

・概要:日南町の公共交通の概要、交通総合計画等

・説明、対応者:日南町役場 企画課長 実延太郎 様

企画振興室 佐伯晋介 様

・コーディネーター:一般社団法人日南町観光協会 松本みはる 様

・内容:日南町における公共交通施策の取組

バス運行の経緯

公共交通総合計画の概要

タクシー助成制度

バス利用者数等

・課題:利用者のニーズ調査

タクシー会社との競合

中心部巡回バス利用(高齢者乗換困難)

他交通機関(JR)との調整

多里地区以外の地区の有償運送の取組拡大

デマンドバス使いづらい(予約、バス停での乗降)

財源(過疎債)

- ・場所: 日野郡日南町多里826番地 NPO法人多里まちづくりサポートセンター
- ・概要: 公共交通空白地有償運送事業
- ・説明、対応者: NPO法人多里まちづくりサポートセンター 理事 荒木定美 様
- ・内容: 多里まちづくりサポートセンターにおける公共交通空白地有償運送の取組  
まちづくり推進協議会での取組、NPO法人設立経緯  
バス利用者数等
- ・課題: アンケート調査  
バス予約(1時間前予約)  
多里地区の人のみ(不公平感)…デマンドバスと同じ車両なのに  
利用したい人が遠慮  
NPO法人の役員や運転手の確保(公募しているが集まらない)

## 所見

有償運送の取組は、交通機関(バス運行)の必要性を地域が強く感じていることから実現していると実感した。

利用する人だけでなく、地域の課題として地域全体で支えることとして、自治会の協力も得られており、体制等の構築の際参考になる。

町営バス、デマンドバス、空白地有償運送バスと運行計画をお互いに調整して、より有効な利用形態となるよう柔軟に対応されている。

日南町交通総合計画では、日南町中心エリアにあるJR駅、病院、学校、役場、商業施設と周辺地域をバス利用して20分で繋ぐよう計画されている。中心エリアは循環バスで利便性を確保されていた。バス利用する高齢者には乗り換えが困難とのことで今後の課題と考える。

収支を踏まえると、赤字運営となることが不可避であることを念頭に検討する必要がある。